第２期未来創造塾
～ 第５回かわら版 ～

Ａ班：大分市 三苫里奈（班長）、別府市 中野憲汰（副班長）
津久見市 川野貴志、臼杵市 姫野啓太郎、竹田市 白石翔、
豊後大野市 赤嶺哲平、日出町 中洲夏海、由布市 後藤悠太

Ｂ班：別府市 五十川貴盛（班長）、豊後大野市 佐田早織（副班長）
大分市 中原健太郎、臼杵市 亀井三佳、津久見市 豊田将也
竹田市 佐藤史織、由布市 河野はるか、日出町 川野聖二

R3. 11. 5 大分都市広域圏推進会議で中間報告を行いました！

★ 大分都市広域圏推進会議の開催概要 ★

日　　時：１１月５日（金）１０：００～１２：００
場　　所：ホテル日航大分オアシスタワー５階 孔雀の間
参 加 者：７市１町の首長　※豊後大野市は副市長が代理出席
大分市長、別府市長、臼杵市長、津久見市長、
竹田市長、豊後大野市副市長、由布市長、日出町長
オブザーバ：大分県市町村振興課長、大分県中部振興局長
〈議　事〉
（１）令和２年度事業実績及び令和３年度事業について
（２）第２期未来創造塾の政策研究の中間報告について

大分市 佐藤市長

別府市 長野市長

臼杵市 中野市長

津久見市 川野市長

竹田市 土居市長

豊後大野市 清水副市長

由布市 相馬市長

日出町 本田町長

大分県市町村振興課
井下課長

大分県中部振興局
森局長

各市町の首長様からは、塾生の研究に対する前向きな姿勢に対して評価をいただき、加えて、今後の研究成果に期待を込めたご意見を多数いただきました。　※ 主な発言は以下のとおり。

●Ａ班の「学生の県内就職率の向上に資するための政策提案」に対して…
「新しく人を呼び込むことも大切だが、圏域の学生達がいかにフルスイングできるような環境を作ってあげられるかという視点も重要だ。」等
●Ｂ班の「人材育成（公務員の副業）に関する政策提案」に対して…
「自治体の職員は市民とのつながりが重要。副業でも地域貢献を通じて市民に期待される職員となるような仕組みづくりに励んでほしい。」等

Ａ班　チーム：“En”join（えんじょいん）

Ａ班リーダー 三苫さんの発表

第2期未来創造塾（A班）の中間報告資料　【チーム名】 “En”joyn（読み方：えんじょいん）

チーム名について

“繋げ”の意味である「ｊｏｙ」と“繋がり”を表す「ｊｏｉｎ」に人と地域の繋がり（ー縁）、経済を回す（ー円）を大切にしたいという思いから、「Ｅｎ」を組み合わせて「“Ｅｎ”ｊｏｙｎ」としました。私たちがハブ役となり大分がもっと元気あふれる街になるよう話題を提案したいと考えています。
また、このチームに出会えた繋がりに感謝し、仲間とともに楽しみながら（enjoy）研究をしていきたいという思いも込められています。

研究テーマについて

当初、私たちのチームでは「圏域外から人を呼び込み、大分に住んでもらう」ための研究をテーマとし議論を行ってきました。しかし、移住・定住は全国的にも難題であり対象となる年齢層が広く、また、県の人口推計によると２０～２４歳の人口において転出超過の状況が顕著にみられたため調査対象を若年層に定めました。その後議論を重ねた結果、「学生の圏域内就職率の向上について」研究を行っていくこととなり、テーマを以下の２点に絞りました。

テーマ１：学生の圏域内就職率の向上に資するための政策（人口減少対策）について
学生の圏域内就職率は全国から見ても低く、要因として就活生が必要としている情報が不足していることや就活イベント等の多くがオンラインに変化したため企業と学生とのコミュニケーションが図りにくいことが関係しているのではないかという意見がでました。そこで、学生が圏域内で就職を希望するような仕組みを研究していきたいと考えています。例えば、「圏域内で働きたい」と思わせるような労働条件以外の魅力を見出すきっかけづくりや、学生自身が圏域内で起業できる仕組みづくりなど、学生を主体とした研究を進めています。

テーマ２：就労に繋がるようなＳＮＳ等を利用した情報発信の仕組みづくりについて
現代においてインターネットツールは必需品であり、特に若年層は情報収集の手段としてＳＮＳを多く活用します。また、コロナ禍を機にＳＮＳ等での情報発信をする企業も増えています。そこで、学生および企業等が求めるニーズを調査研究したうえで、より効果的な仕組みづくりを研究していきます。

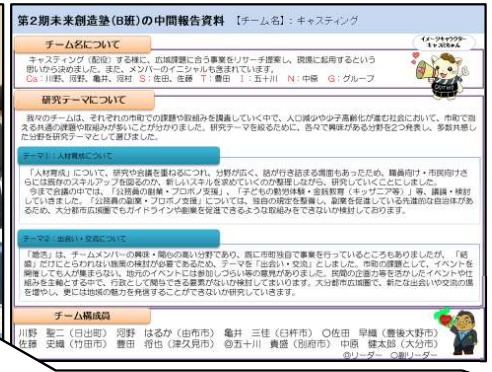
チーム構成員

姫野　啓太郎（臼杵市）　川野　貴志（津久見市）　後藤　悠太（由布市）　赤嶺　哲平（豊後大野市）
白石　翔（竹田市）　中洲　夏海（日出町）　◎三苫　里奈（大分市）　○中野　憲汰（別府市）
◎リーダー　○副リーダー

Ａ班は、テーマとして「圏域内で働きたい」と思えるよう、学生自身が圏域内で起業できる仕組みづくりなど、学生の圏域内就職率の向上に資するための政策を研究しています。また、就労に繋がるようなＳＮＳ等を利用した情報発信の仕組みづくりにも取組んで行きます！

Ｂ班　チーム：キャスティング

Ｂ班リーダー五十川さんの発表


第2期未来創造塾（B班）の中間報告資料　【チーム名】：キャスティング

チーム名について

キャスティング（配役）する様に、広域課題に合う事業をリサーチ提案し、現場に起用するという思いから決めました。また、メンバーのイニシャルも含まれています。
Ca：川野、河野、亀井、河村　S：佐田、佐藤　T：豊田　I：五十川　N：中原　G：グループ

研究テーマについて

我々のチームは、それぞれの市町での課題や取組みを調査していく中で、人口減少や少子高齢化が進む社会において、市町で抱える共通の課題や取組みが多いことが分かりました。研究テーマを絞るために、各々で興味がある分野を２つ発表し、多数共感した分野を研究テーマとして選びました。

テーマ１：人材育成について
「人材育成」について、研究や会議を重ねるにつれ、分野が広く、話が行き詰まる場面もあったため、職員向け・市民向けさらには現存のスキルアップ方策などの、新しいスキルを求めていくのか整理しながら、研究していくことにしました。
今まで会議の中では、「公務員の副業・プロボノ支援」、「子どもの動物体験・金銭教育（キッザニア等）」等、議論・検討していきました。「公務員の副業・プロボノ支援」については、現存の規定を整備し、副業を促進している先進的な自治体があるため、大分都市広域圏でもガイドラインや副業を促進できるような取組みをできないか検討しております。

テーマ２：出会い・交流について
「婚活」は、チームメンバーの興味・関心の高い分野であり、県に市町独自で事業を行っているところもありましたが、「結婚」だけにとらわれない施策の検討が必要であるため、テーマを「出会い・交流」としました。市町の課題として、イベントを開催しても人が集まらない、地元のイベントには参加しづらい等の意見がありました。民間の企画力等を活かしたイベントや仕組みを主軸とする中で、行政として関与できる要素がないか検討しています。大分都市広域圏で、新たな出会いや交流の場を増やし、更には地域の魅力を発信することができないか研究していきます。

チーム構成員

川野　聖二（日出町）　河野　はるか（由布市）　亀井　三佳（臼杵市）　○佐田　早織（豊後大野市）
佐藤　史織（竹田市）　豊田　将也（津久見市）　◎五十川　貴盛（別府市）　中原　健太郎（大分市）
◎リーダー　○副リーダー

Ｂ班は、テーマとして「公務員の副業・プロボノ支援」について、副業を促進している自治体を参考に、ガイドラインを作成して副業を促進できるような取組みを検討していきます。また、「婚活」イベントについて、民間の企画力を活かしつつ、行政として関与できる要素がないか、県との情報交換を図りながら研究を進めて行きます！

塾生の皆様、中間報告では大変お疲れ様でした!!

来年の政策提案に向けて、引き続き、調査・研究等、協力し合って頑張っていきましょう!!

塾長イラスト
※塾生（佐田さん）作

発行：大分都市広域圏　政策研究チーム　第２期未来創造塾　事務局（大分市企画部企画課広域連携推進室　TEL：097-585-5242）